

No.31

令和7年6月

防府市文化協会だより

防府市文化協会

防府市役所本館5階(文化振興課内)

TEL 0835-26-6841

FAX 0835-23-4300

令和6年度 総会並びに 表彰式

令和6年6月22日(土) 13:00～

防府市文化福祉会館3階大会議室



岡本会長あいさつ



池田市長よりご祝辞



総会議事



江山教育長より表彰

令和六年六月二十二日(土) 十三時から、令和七年には、解体される防府市文化福祉会館三階大会議室にて、池田豊防府市長、江山稔教育長、防府商工会議所会頭羽嶋秀一様、防府市文化振興財団会長上野清様をお招きし、総会並びに表彰式を開催いたしました。

まず、祝儀舞が披露され、次に、岡本会長のあいさつがあり、池田防府市長様よりご祝辞を賜り、表彰式・総会が無事終了。最後に、古典芸能南京玉すだれ山口会による玉すだれ等が披露され、拍手喝采。盛会のうち終了しました。

新しい文化センターの誕生で
文化協会の活動発展に期待します。

防府市文化協会

会長 岡本 早智子



ご案内のように、今春、防府市では、新庁舎が開庁すると同時に、文化センターが生まれ変わりました。これまで「ぶんぶく」と呼ばれて親しまれて来た「防府市文化福祉会館」が老朽化で姿を消すことになり、新しく新庁舎の八階に「防府市文化センター」が誕生。既に駅前に開館しております「ルルサス文化センター」と合せて、新しい文化センターが誕生したことになります。

皆様はもう、これらの新しい文化センターに行ってみられたり、(ルルサス文化センターについては)利用された団体もあることと思います。「文化センター」は、生涯学習センターなのですから、是非、当会の会員である皆様が率先してご活用頂き、文化・芸術活動等の学習や発表・交流の立派なスペースになるように、先導して頂きたいものです。

なお、ご利用上のご不明な点や、利用されてのご感想などありましたら、文化協会事務局へ、是非、お聞かせ下さい。

今年度も元気で、楽しく、皆で当会の活動を盛り上げていきましょう！

今年度は、皆様方の諸文化活動が飛躍的に発展しますように期待しております。

令和五年度 市民文芸表彰者

◎ 川柳の部

○ 年度賞

向島 竹本タエ子
佐波 今川 昇
新田 坪郷英美子
向島 田中たづ子
迫戸町 佐藤 哲夫

◎ 俳句の部

○ 年度賞

宮市町 村瀧 富子
西浦 藤岡久美子
台道 林 保江
真尾 丸田 和子
石が口 馬場 精作

◎ 短歌の部

○ 年度賞

富海 江川 詳子
惣社町 賤間 星
桑南 原田たえ子
富海 藤井美智子
東三田尻 原田ヤスエ

◎ 自由律俳句

○ 年度賞

田島 佐川智英美
奈美 松下 満江
下右田 岡部 雅江
桑南 西岡 悦子
新田 池田 幸

令和六年度山口県文化功労賞を受賞して

防府邦楽舞踊連盟

会長 小林 範山

令和六年十一月二六日山口県庁にて「山口県文化功労賞」を受賞させていただきました。遡ること、前月初旬に山口県文化振興課の担当者より突然受賞決定の知らせを受け、身に余る光栄なことと吃驚しました。

昨年、都山流尺八楽開軒（尺八の指導開始）五〇周年の節目を迎えたところでの受賞に感無量でした。これもひとえに恩師である末永萬山先生をはじめ多くの絃方諸先生方、尺八関係者（先輩や仲間、門人の皆さん）のお陰だと痛感しています。恩師の教えは常に「都山流尺八楽の正統な芸の習得」を目指しなさいと指導を受け、若い時から本曲コンクールの挑戦をはじめ我武者羅に突き進んでまいりました。私自身はまだまだ未熟ですが、今では若い門人たちの著しい成長（全国本曲コンクール優勝や入賞）もありお互いに教え教えられ楽しく一緒に勉強しています。また、引き続き新人発掘にも尽力して参ります。

今回の受賞は県受賞功績概要にありますように、山口県邦楽連盟・防府市文化協会・防府邦楽舞踊連盟などを通じて県内の邦楽団体の連携交流に尽力となっています。これはひとえに令和五年度の山口県邦楽大会（防府大会）の邦楽舞踊連盟の皆さんの大活躍によるものと確信しています。当日早朝より会員有志約七〇名のお手伝いによる円滑な運営により、県内の出演団体からとても高い評価をいただきました。紙面をお借りし皆様方のご協力に心よりお礼申し上げますとともに引き続き邦楽舞踊連盟にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

『自由美術』について

防府市美術連盟

会長 山田 史生

『自由美術』は、八十八年の歴史を誇り、自由な作風を大事にする美術団体です。

毎年十月に、東京六本木の国立新美術館に於いて展示会が開催され、全国五百名近くの作家が出品されます。

（山口県内作家十八名、内防府市三名）

私は、八年連続入選後、令和四年に、本部佳作入賞。令和五年、本部新人賞と続き、正会員に推挙され、令和六年十月二日～十四日まで実施された、自由美術本部展の会場内に、個人コーナー設置の榮譽を戴きました。

この度、アスピラート一階市民ギャラリーにおいて、七月十一日（金）～七月十三日（日）実施の山田史生個展会場において、皆様方に、東京会場の作品をご披露させて頂きたいと考えております。

ご来場・ご高覧をお待ち致しております。



令和六年度文化振興奨励賞（個人の部）

美術

青木 靖男

2003年水彩画制作開始。2004年に、水彩画同好会（遊画な仲間）発足し、水彩画普及発展のため、研修会やスケッチ会や作品発表会を開催。ほうふ水彩画倶楽部として、防府市文化協会に加入し、活動範囲拡充を図る。活動内容※2004年より水彩画実習研修会を図るとともに、市美術展に毎年応募。作品発表会を年1回開催。市美展受賞実績：2011年市長賞、2012年美術連盟賞、秀作賞・複数回数受賞。周南市シニアアート展2017年優秀賞、佳作多数。2022年から、防府市文化協会個人会員に加入。部門間交流を図り、積極的に企画し開催している。防府市の水彩画の普及と文化活動に20年以上携わり、研修会や作品展や市民ギャラリーでは、他部門との併催・共催のイベントを積極的に企画開催し、今後多様性の開催企画が実施されると思われる。今後、研修会等参加者の育成により、水彩画を制作する方が増加し、美術部門への関心度が向上し、進展が望める。

推薦団体：防府市美術連盟

邦楽（尺八）

裏谷 菅吟

昭和50年4月 上田流尺八道 臥龍齋 松谷菅山 師に師事。昭和50年4月 上田流尺八道 菅友会（会長：松谷菅山）入会。昭和63年1月 上田流尺八道 師範免状 授与。平成11年4月 上田流尺八道 大師範免状 授与。平成23年3月 上田流尺八道 臥龍齋 冠称 授与。昭和50年、上田流尺八道 臥龍齋 松谷菅山 師に師事と同時に菅友会入会以来、会社経営の傍ら尺八技芸研鑽に精進し現在に至る。昭和63年から平成25年まで長きに亘り、毛利邸春の邦楽コンサートに連続出演したほか、防府市文化協会主催「防府市邦楽の会」には第6回（1975年）以来、現在まで連続出演。その間、平成24年度から同26年度まで上田流尺八道山口県幹部会会長を務めるとともに、併せて平成22年度から同26年度まで、第4代菅友会会長を務め、現在、同会副会長として現会長をサポートしている。

本年、傘寿を迎え高齢ながらも、なお矍鑠として演奏する雄姿には敬服するに値するものであり、永年にわたり地道に芸術・文化活動を続けており、防府市文化振興奨励賞授賞規程第2

条第1項第2号及び第3号に十分該当するものと思量する。茲に伏して授賞を願い、推薦するものである。

推薦団体：上田流尺八道菅友会

映像

吉次 和彦

元防府市青少年科学館ソラール館長。現在は、防府市観光ボランティアガイドの会。永年、防府映像サークルのメンバーとして、会の運営に携わり現在は、副会長の役職を務めています。

余暇を活用してボランティア活動を行い、防府市観光ボランティアガイドの会に入っており、市外からの観光客を案内し、防府市の良さを説明するなど活躍しています。この観光案内で得た情報を活かして、主に神社仏閣（防府天満宮、阿弥陀寺、玉祖神社、国分寺など）の由来や往時に活躍した人物を独自の観点から、浮き彫りにして、自分の映像作品に纏め、次世代に残そうとしております。情報の収集、編集と作品に仕上げる手腕は見事なものです。

経歴・活動実績から今後とも私どもの会になくはない人として推薦いたします。

推薦団体：防府映像サークル

歴史

寺本 直美

望東尼にご縁の深い桑山の近くに生まれ育ち、幼少の頃より母親と共に墓参り、望東尼を心から尊敬し、望東尼の顕彰活動に参加。平成15年から、前上山会長に見込まれ、事務局として、20年余り運営に携わり、総務部の責任者として、防府野村望東会の活動の運営全体を整えて頂いております。

「歴史中の望東尼に関する正しい史実を明らかにしようとする飽くなき探究心」に溢れ、これまでに、役員が中心となつて進めた平成28年刊行望東尼物語や令和5年刊行「野村望東尼長州関係」資料集」においても、現地調査や望東尼の歌・書簡の読解等に、専門性を発揮し、熱心に取り組んで頂いた。

これまでに、積み上げて来られた真似の出来ない野村望東尼の顕彰業績に対して、この賞を授けて頂く事により、何よりもご本人が「続けて来てよかった!」と自己肯定感をもち、今後の人生においても、望東尼顕彰の継続に限らず、今後の人生の後押しになると考え、推薦します。

推薦団体：防府野村望東尼会

文化振興奨励賞（団体の部）

文化財

西浦焼愛好会

柏田 秀子

平成29年4月27日発足以来、公民館のサークル活動で研鑽を重ねている。令和4年度には、オープンしたばかりの市民ギャラリーにおいて、多くの方々に西浦焼の展示や説明。西浦焼の歴史的考察および作品鑑賞により、公民館のサークル活動で研鑽を重ねている。年2、3回程度、西浦公民館等で展示会、また活動発表会での展示発表をし、地域住民に西浦焼について情報発信をしている。また、過去5年間、小学5年生を対象に、『総合的な学習の時間』で、「西浦焼についての学習」の講師をしている。市民ギャラリー等でも展示会を行い、防府市民に対しても広く西浦焼の歴史・魅力について、啓発活動をしている。西浦焼は、江戸末期に当時の庄屋から招かれた陶工により、江戸時代末期から昭和7年まで三代にわたり西浦で作られたもので、萩焼の流れをくむ焼物です。この西浦焼について、各種展示会等を通じ、地域住民や市民、見学者等とその歴史や魅力について、後世に伝える努力をしている。西浦焼愛好会は、西浦焼の伝承を通じて、防府市への文化貢献が顕著である。

推薦団体：西浦公民館

民俗芸能

古典芸能南京玉すだれ山口会

勝間 幸次

平成20年1月14日、会員14人で発足。講習会の開催を月1回実施。コロナ禍で会場が使用できない場合も、日程調整し、今年度195回実施。また、老人ホーム等福祉施設訪問し、地域イベントに376回参加している。

講習会については、開催を継続的に実施している。地域イベントには、積極的に参加し協力している。コロナ禍では、玉すだれの備品等共有できず、消毒等を勧め実施。

また、令和4年10月9日には、山口市で開催された第30回地域伝統芸能全国大会に出場し、大いに貢献が果たした。

推薦団体：防府民俗芸能連盟

防府市文化協会特別企画展

「野村望東尼真筆展」を開催して

防府野村望東尼会 会長 岡本 早智子

当会が初めて取り組んだ真筆展で、開催準備中に、「こんな事業は生まれて初めてのことで、最後まで何の事故や不始末も無く終われるだろうか?」と、不安で眠れない夜もありました。でも、お蔭様で、本当に多くの関係者の方々に支えられながら、無事に、しかも盛會裡に終了出来て、これ程嬉しいことはありません。五日間に約三百人の方々が入場され、ギャラリートークには、百二十人の方々にご参加頂き、部屋一杯満員の中で、望東尼研究家の谷川佳枝子様の御案内と講話に魅了されておられました。ただ、この時は、あの会場で、身動き出来なくなる程の人数でしたので、谷川先生にも御来場の方々にもご迷惑をおかけしてしまいました。

その罪滅ぼしに、又、防府市で初めて出来た真筆展でもあるので、この記録集(図録)を作り、今夏の「望東尼生誕の日の集い」で、ご紹介したいと考えております。

この度の諸経験を生かして、野村望東尼の顕彰を、より多様な角度から、楽しく、分かり易く進めて行けるようにしたいものだと、役員一同、また新しいエネルギーを頂くことが出来ました。この様な機会を頂き、誠に有難うございました。



令和六年度の活動を終えて

防府市民短歌会

防府市民短歌会の大きな行事は「防府市民短歌大会」です。令和六年度は、十月六日にご来賓はじめ一般、児童生徒ら合わせて四十名が出席し、和やかに行われました。応募者は二百九十八名、作品は三百二十七首で、表彰式や批評会など有意義な時間を過ごすことができました。児童生徒の部では、学校の先生方のご協力が大きく感謝しています。

また、児童生徒を対象とした短歌の出前授業や、図書館祭りで短歌指導も軌道に乗り、若い世代への継承も徐々に進みつつあるとうれしく思っているところです。

更に、今年度初めての試みとして、アスピラトでの短歌作品の展示も行いました。「短歌のこみちへようこそ」という企画タイトルで、防府高校書道部の書になる優秀作品を展示し、市内の短歌会三つの紹介もしました。この企画が、短歌という枠を超えて共に作り上げる喜びをもたらし、短歌を広く知ってもらう場にもなりました。この経験を生かし、来年度も短歌を詠む楽しさを広く知ってもらう場を設けようと計画しています。

最後に市広報に掲載される「市民文芸」についてですが、作品作者への感想など反響をよく聞くことがあり、市民の皆さんが関心を持って読んでくださっていることを実感しています。こういう豊かな心の触れ合いの場はなくさないでいただきたいと切に願います。

これから、様々な試みを行いながら短歌の愛好者を増やし、詠む楽しさを知っていただくための努力を続けたいと思います。皆さんも一緒に短歌を詠んでみませんか。



第七十三回 防府市美術展について

防府市美術連盟 副会長 石川 近利

二〇二四年十二月四日(水)～八日まで、防府市地域交流センターアスピラート二階展示ホール及び一階市民ギャラリーにおいて、防府市美術展を開催致しました。

本年度も七部門より百二十九点及び中学生と絵画教室のお子様の合計百三十八点の展示を行い、一階二階合計で千七百五十九人の多くの防府市民の方々にお越しいただきました。

今年は初めて防府市美術展に関して御来場者にアンケートをお願いし、二百四十三名と多くの回答を頂きました。その中で満足百六十五名、ほぼ満足四十三名と、多くの方々にご支援いただいたことが分かりました。なお、皆さんから参考になるようなコメントを頂いており、次回の美術展に活かしていくため検討を進めております。

今後も防府市美術展を市民の芸術発信及び発表の場として、更に盛り上がる様運営に努力致しますので、皆さんも是非気軽に参加、ご来場・ご高覧下さいますようお願い申し上げます。



市民音楽祭の実行委員長として

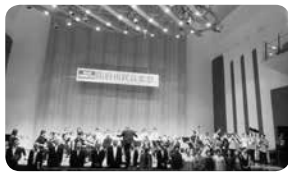
防府音楽連盟 会長 石川 功

まずは、市民音楽祭がコロナ・インフルエンザ大発症などで発表や練習が制限される音楽団体にとって苦難の時期を乗り越え、防府の文化を高める会時代から一回も途切れさせることなく、文化協会のご努力により、今まで継続して開催されました事に、発表の場を提供して頂いた防府市内の音楽団体を代表して御礼申し上げます。

市民音楽祭実行委員会では、各実行委員の長年の演奏活動経験を基に、多種多様な演奏形態の各出演音楽団体が、本番で日頃の練習成果を心置きなく観客の皆さんに披露できますよう、文化協会と併に企画・運営など時代に沿った創意工夫、協議を行い、昨年度も音楽祭でのスムーズな開催進行、発展に努めることができました。

また、市民音楽祭が単なる防府市民に向けての音楽発表の場だけではなく、会員団体相互、他形態音楽ジャンルの演奏団体との交流や連携の場となるよう、各団体の代表者には他出演団体の舞台セッティングのお手伝いや、他団体の演奏を鑑賞する場、出演団体相互の交流の場を設け、特に、同じく実行委員会での発案により、今では恒例となりました市民音楽祭のアンコール・ステージとも言える合同演奏は、客席の皆さんをも巻き込んで会場全体が一つになれる、他の発表会には見られない素晴らしいプログラムであると自負し、今ではこのプログラムを観客の皆さんも楽しみにしておられます。

実行委員長としては、時間に制限は有るものの、新規出演希望団体をできる限り迎え入れ、参加された全ての皆さんが楽しみ、記憶に残る音楽祭、音楽活動の発展にこれからも努めて参りたいと考えておりますので、文化協会や会員の皆様には今後とも引き続きのご協力・ご理解をお願いいたします。



心からGRACIAS（グラシアス）

洋舞の会 会長 谷 淑江

故郷にスペイン舞踊を広めたい一心で長年活動していますが、山口市とスペインのパンプローナ市の姉妹都市締結四十五周年記念で依頼を受け、先日二月十五日に初めて県内で自主公演の機会に恵まれました。

会場はKDDI維新ホール、スペインからゲストを迎え、無料で一般の皆様にも本格的な舞台を披露できるチャンス、フラメンコをより楽しんでいただくために曲間にレクチャーを入れたプログラムを用意し、やる気に満ち溢れる反面、二千人収容のホールを埋められるか不安もありました。

ですが、当日は驚くほど多くの方が来場くださり、客席から届く「Ole（オーレ）」【賞賛の掛け声】や「GRACIAS（グラシアス）」【ありがとう】の声援が私たちを包み、ゲストのピクトルさんも山口県の和やかな暖かい風土に感激、素晴らしい経験になりました。応援くださいました皆様、心よりお礼申し上げます。

また、所属の「洋舞の会」の軸となる恒例の洋舞フェスティバルも、昨年やつとコロナ前と同じ上演スタイルに戻すことが叶い、盛況に終えられました。関係者の皆様に深く感謝いたします。

今年のフェスティバルは十月十九日に開催が決まり、昨年以上の盛り上がりをお願い準備を進めています。

防府市の文化芸術の発展に貢献できるよう努めますので、引き続きご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。



ビデオ作品発表会二十七回目を終了

防府映像サークル 会長 清澄 邦夫

二〇二四年十一月四日、二十七回目の発表会を、デザイン・プラザHOFU（防府市創業・交流センター）で開催しました。

会員の作品十三本を上映し、一二〇人の方に喜んでいただきました。

当日は、岡本早智子文化協会会長のご挨拶を頂き上映を始めました。

いつも文化協会にご協力頂きありがとうございます。

私たちは、「楽しく撮って、楽しくまとめる」をモットーに、そして「記憶は消えていくが、記録は記憶を呼び起こす」の考え方で作品を作っています。

家族と共に過ごした旅行などの記録、防府市を中心とした歴史や行事を纏めて月例会で発表しています。その時に出た意見を取り入れて修整した作品を上映会に出しています。

近頃の動画はご存知のように、AI技術は素晴らしい速さで進化しています。

スマホの世界も、静止画や動画の画質が飛躍的に向上し、同時に編集ソフトもスマホで容易にでき、いろいろな技術を活用することができるようになりました。

これまではパソコンで高価な編集ソフトを取り入れ複雑な操作を、ああでもない、こうでもない、と、四苦八苦しながら編集していたことがユメのようにになりました。

私どもの会は、新しい会員が入ると、スマホによる編集の勉強会を行っています。二時間で基礎的な編集ができるようになります。

今年度の計画今年度も入会された会員に勉強会を行う予定です。

第二十八回の作品発表会は十一月九日に、デザイン・プラザHOFUで（予定）で行います。

皆様のご来場を、お待ちしております。



盆栽展について

大道盆栽会 会長 小林 保
防府盆栽会 会長 今井 豊
事務局長 村井 正

令和六年十一月十六、十七両日三友サルビアホールホワイエにおいて、盆栽展示会を開催しました。

展示準備の負担軽減のため、昨年のアスビラートから会場を移しました。

また、案内状の送付も県内近郊に限定し、ゆつたりした盆栽展を心掛けました。

市長、副市長にも展示いただき、感謝しています。

文化協会様には、会場設営等多分な配慮をいただき、感謝申し上げます。

一月六日から新庁舎オープンに向けた盆栽の展示を依頼され、前日、一階エントランスと四階に八席展示いたしました。

一週間の間でしたが、盆栽会の絶好のPRになったと思っています。

私達大道盆栽会は、一月より、五〇有余年の歴史に幕を閉じ、新たに【防府盆栽会】としてその歩を進めてまいります。

若い会員も一〇名を数え、SNS等で広く発信し、会場を大道公民館とし、技術向上に向けたサークル活動を行ってまいります。

防府盆栽会では、会への入会を広く募集しています。

親切丁寧をモットーに指導体制を整えていますので、よろしくお願いいたします。



防府市民文化祭華道展を通して

防府市華道連盟理事
華道二葉流 田中 竹陽

防府市民みなで、たくさんの文化に触れさせて頂ける、防府市民文化祭は個人的にも毎年楽しみにしております。防府市華道連盟も、華道展として毎年参加させて頂けてきたこと、たいへん嬉しく喜びであり、感謝です。華道展前日の準備の日を入れて華道展二日間、計三日間を皆様と共に参加させて頂くことで、笑顔の中、パワーを頂き豊かな心にさせて頂いています。

お花を活けられるすべての皆様のお花や木や器等への愛情と弛まぬ精進を、新鮮なときめきを、感じさせて頂いております。会場に入った時、優しい花々の香りに包まれて、おだやかで優しい気持ちになります。出品されている方も展覧会のお花に携わっておられるすべての方のあたたかい花への愛情が溢れていて、その思いに触れさせて頂けること、幸せいっぱいです。いつもたくさんのお世話を下さる文化協会の方達にも感謝しております。これからも見に来て下さるすべての方達

が、たくさんのお花に触れられて癒されるやさしいひとときを過ごされますように、幸せいっぱい帰られますように、心より願っております。ありがとうございました。



市民茶会を終えて

防府茶道連盟 三吉 宗春

十一月十六・十七日と市民文化祭が開催されました。

この度は、市内での大きなイベントと重なり、お客様の来席を心配しながらのお茶会となりました。

しかし、おかげ様でお菓子が足りなくなるほどのお客様でうれしい悲鳴に変わりました。

また、コロナ・インフルエンザの流行を心配しながらの開催でありましたので、役員一同細心の注意を払いました。

お客様の「このお道具は?」「この花は?」の質問や「美味しかったね」「楽しかったよ」の一言に、有意義な時間を過ごしてもらえたのかなと安堵しながら、また次に向けて頑張ろうと思えました。

文化協会、スタッフ、役員さんに感謝しかありません、有難うございました。



玉祖窯

松下 宏明

昨年の市民文化祭にて市民スペースで陶芸作品の展示と陶器の制作手順の紹介をさせていただきました。市民スペースは、地域の人々が交流しやすい場所であり、アクセスも良いため、多くの方に作品を見ていただくことができました。スペース自体はギャラリーと比べて広さや照明、展示設備に制約がありますが、通路に面しているため、気軽に立ち寄りやすい点が大きなメリットです。作品の数やサイズに応じてレイアウトや設営を柔軟に変更できるため、展示の工夫もしやすく、参加者や訪問者にとって見やすい空間を作ることができたと思います。展示期間中は、多くの方々が足を運び、作品に興味を持ってくださったことが何よりも嬉しい経験でした。陶芸の技法や作品の背景について説明すると、熱心に耳を傾けてくださる方も多く、陶芸の魅力を伝えることができたと思えます。

子どもから大人まで幅広い世代の方々が訪れ、陶芸の楽しさや奥深さを感じてもらえたことも大きな収穫です。こうした交流を通じて、地域の方々に作品を見ていただく機会を持てたことは、非常に意義深いと感じており、今後の活動の励みとなりました。



グループ源

横田 素子

私たちのグループは、岸田源太郎先生の教え子の集まりですが、年一回のグループ展を開催しており、今年で三十三回目となりました。今年は昨年に引き続き、市民ギャラリーで開催させていただきましたが、二回目の利用ということもあり、開催までの準備が昨年よりはスムーズに進みました。また、グループからだけではなく、文化協会さんからも絵画展の情報発信をしていたことが、来場者の増加につながったと感じています。市民ギャラリーを利用していただくと理由のひとつです。

今年の絵画展は、メンバーの諸々の事情により作品が少なく、片側の部屋のみの開催となりましたが、それなりに居心地の良い空間をつくれたと思います。

今後の活動は、コロナ禍で中断してしまっていたスケッチ旅行やデッサン会など企画して、来年度の絵画展の準備ができればと思います。来年度も市民ギャラリーでの開催となりますので、みなさまのご来場をお待ちしています。



市民ギャラリーをプラットホームに

色鉛筆のなかまたち 講師 光元 裕子

秋に開催致しました、「色鉛筆のなかま展」も昨年で早くも第3回をかぞえました。市民ギャラリーのあるお陰です。

「絵なんて描いた事がなくて・・・」と、言われていた大人の方達、しかも孫の面倒を見ようかという年齢が大半。なのに自分の時間を削り努力を重ね、各展覧会に出品される作品の数や完成度は、普通の絵画教室では有り得ないと思います。

色鉛筆は子供の頃より馴染みがある画材では有りますが、油性の色鉛筆となると子供のものとは段違いに美しく、塗り心地が良い事に教室では感動の声も上がります。用紙も同様。凸凹した水彩紙は、描きづらいとかあるいはしっかりと塗れて良いとか、そう、この教室の方達は、子供の様に素直に語り何の恥も無く基本的な事を質問したりされるのです。

上達、成長の秘訣は、素直である事なのかも知れません。

防府市美術展やシニアのコンペなどで、受賞される方が何人も出ておられますが、この度県美展の入選者も出ており、嬉しい驚きです。

市民ギャラリーでの年一回の「なかま展」をプラットホームとして各々の作品を磨いて参りたいと思います。



令和七年度事業計画

六月二十九日(日)	防府市文化協会総会・表彰式 防府市役所本館八階文化センター
七月十九日(土)	防府市民自由俳句大会 防府市役所本館八階文化センター
十月五日(日)	防府市民短歌大会 防府市役所本館八階文化センター
十月十九日(日)	市民川柳大会 誌上大会
十月十九日(日)	市民文化祭 洋舞フェスティバル 三友サルビアホール
十月二十六日(日)	市民文化祭 市民音楽祭 アスピラート三階音楽ホール
十一月二日(日)	市民文化祭 邦楽の会 三友サルビアホール
十一月九日(日)	市民文化祭 ビデオ作品上映会 デザインプラザHOFU二階
十一月十五日(土)	市民文化祭 盆栽展 三友サルビアホールホワイエ
十一月十五日(土)	市民文化祭 華道展 アスピラート二階展示ホール
十一月十六日(日)	市民文化祭 市民茶会席 アスピラート二階
十一月十六日(日)	市民文化祭 「まちの保健室による健康相談」 アスピラート二階
十一月十六日(日)	市民文化祭 「陶芸展」 アスピラート一階
十二月三日(水)	防府市美術展 アスピラート二階展示ホール

令和七年度 防府市文化協会役員

○＝常任理事

役員	氏名	選出母体
顧問	岡田 利雄	個人
会長	岡本早智子	防府野村望東尼会
副会長	小林 範山	防府邦楽舞踊連盟
副会長	山田 史生	防府市美術連盟
監事	清澄 邦夫	防府映像サークル
監事	石川 雅子	防府市華道連盟
○ 常任理事	理事	選出母体
新○	中村 正規	防府市民短歌会
○	山田 梓江	防府市美術連盟
	河村 澄心	大濤書道会
	堀江 新子	藍と愛の会
○	石川 功	防府音楽連盟
	河野 隆文	防府市民合唱団
○	若柳吉冬貴	吉冬貴の会
	永田 菅堂	上田流尺八菅友会
	花柳扇千鶴	千鶴の会

○ 常任理事	理事	選出母体
新	谷 淑江	スペイン舞踊ダンサルテ
	田村 梨乃	ティアラ・バレエアート
○	田中 竹陽	防府市華道連盟
	三吉やよい	防府茶道連盟
○	青木 明夫	防府民俗芸能連盟
○	末富 文江	日本郵趣協会防府支部
○	坪郷 好夫	個人
○	西村 一	個人
○	桑原 一朗	個人
	藤井 和敏	小学校長会
新○	徳永 竜治	中学校長会
○	深田 慎治	支援事業部
	鈴木 宏明	防府天満宮
	重田 彰吾	防府青年会議所
新○	森江 崇文	文化スポーツ観光交流部文化振興課長
	石竹 俊博	(公財)防府市文化振興財団地域交流センター館長

事務局 岡崎久美子

文化協会会員募集

防府市文化協会は、みなさんの文化・芸術に関する発表事業及び研究・顕彰・啓発事業のお手伝いをする団体です。

《年会費》

団体会員（第一号会員）
三千元
個人会員（第二号会員）
千五百円

《会員の特典》

- *個人会員
 - ① 年一回の主催事業への無料招待及び割引招待
- *団体会員
 - ① 加入団体の各種行事に対する文化協会の共催・後援
 - ② 文化福祉会館・公民館の施設（文化福祉会館大会議室を除く）月一回一区分無料利用
 - ③ 会員であればアスピラート1F市民ギャラリーが無料で使用できます。

ただし、電気代等実費利用分は有料となりますので、申し込まれる時に必ず各施設にご確認ください。

《入会方法》

「入会申込書」に会費を添えて文化協会事務局へ。なお、団体会員については、会員名簿（氏名のみ）を必ず添付してください。

《期限》

年度の4/1～翌3/31までの一年間（年度ごと更新）

《問合せ》

防府市文化協会事務局
(防府市役所本館五階文化振興課内)
TEL: 〇八三五―二六八四二
(FAX: 〇八三五―三三四三〇)

※申込書は、市文化振興課のホームページからダウンロードできます。

編集

委員長 山田 史生
委員 石川 雅子
三吉やよい
岡本早智子
岡崎久美子

発行

千七百七十八五〇一
防府市寿町七番一号
防府市役所 本館五階
文化振興課内
TEL 〇八三五(二六)六八四一
FAX 〇八三五(二三)四三〇〇
メールアドレス
hobunko@stara.ocn.ne.jp

令和七年六月

編集後記

皆様お忙しい中、寄稿のお願いを快よくお引き受けくださり、ありがとうございました。

各文化団体のお力添えにより、令和七年度を無事迎えることができました。本年度もどうぞよろしくお願います。



防府市文化協会が目指す先は・・・

事務局長 岡崎 久美子

防府市文化協会は、昭和四十五年に創立された「防府の文化を高める会」が平成十年十月に名称改め、市内の文化芸術を振興・支援し、各々の文化団体の特性を育て生かしながら、その特性をエネルギーに変換し、市民の文化芸術のふれあいを通して、個々の文化芸術性を高め、最終的には、その能力をまちづくりに貢献することを目指しています。これは、当協会創立において、先人の方々が『防府市文化協会創立宣言』に謳っており、先人の創立目的を見失うことなく、お陰様で、本年度で二十七周年を迎えることができました。又、防府市は、平成十二年に生涯学習都市宣言をしたまちであるからこそ、当協会が主催しております、五十六年目を迎える防府市民文化祭や駅周辺の賑いづくりの一端となれるよう活動を広げ、三年目を迎えた市民ギャラリーの活動も順調に宣言に近づける良い刺激と効果を生み出していることを少しずつ実感しております。これも偏に、文化・芸術の発展にお力添えを頂いている、皆様方のお蔭と深く感謝申し上げます。

当会が、最終目的であるまちづくりに貢献できる会として、市民に親しまれ、いきがいを育み、笑顔あふれる会となり、これから会が一丸となって、互いに助け合い、工夫しながら活動を継続して行ければ幸いに存じます。

「市民ギャラリー情報」7月

※池坊青年部花展

7月6日(日) 10時～16時

※オカリナ合同演奏

オカリナ夢笛、スピカ、リングハート
7月7日(月) 13時～15時

※山田史生展

7月11日(金)～13日(日) 10時～16時

洋画作品約50点展示

※サマーコンサートwith水彩画

7月19日(土)～7月20日(日)

13時30分～15時30分

ほうふ水彩画倶楽部による「花の絵」展示

・音楽演奏

19日・勝間ギターアンサンブル演奏

20日・尺八楽範山会
マンドリンアンサンブルおとのわ

13時30分～15時30分

※着物の会によるゆかたの帯結び展

～着くずれのお直しもします～

7月25日(金)～27日(日) 10時～15時

●「防府おどり」のある26日(土)は、10時～20時まで展示します。

※防府市文化協会市民ギャラリー「特別企画展」

大井正則・美智子陶芸50年記念展

7月31日(木)～8月10日(日) 10時～16時

8月5日(火) 休館

但し、10日のみ13時まで

●8月2日(土) 14時～ ギャラリートーク

「陶芸と私」

※地形模型の部屋において、ラベンダーの会による「ハーブで飾ろう」作品展示があります。

※日程はあくまでも予定ですので7月1号の市広報をご覧ください。

活動展開二題

ほうふ水彩画倶楽部 代表 青木 靖男

その一 「地形模型の部屋活用」

「市民ギャラリー」開設に続き、隣接する「地形模型の部屋」が、作品等展示スペースとして利用できるようになりました。私たちは早速、「冬から春へ」「瑞風閑連」「雪の絵」等の作品展を企画開催してまいりました。円形・黒壁・通り抜けというユニークな会場設定は解放感があり、気軽に立ち寄ることのできる「ミニギャラリー」として好評で、今後さらに各団体の多様な展示が盛んになることでしょう。

その二 「未加入団体・個人へのアプローチ」

私たちの団体は、従来から他会員(団体・個人)との共催併催を積極的に進め、会員間の交流促進(横展開)を図っていますが、現在ではさらに一歩踏み出し、まだ会員未加入の団体や個人にも共催併催のお声かけをするように努めています。これは、文化協会活動を体験していただき、その仕組みや効果等を理解し、会員加入への動機付けとなるよう期待を込めての方針です。

